

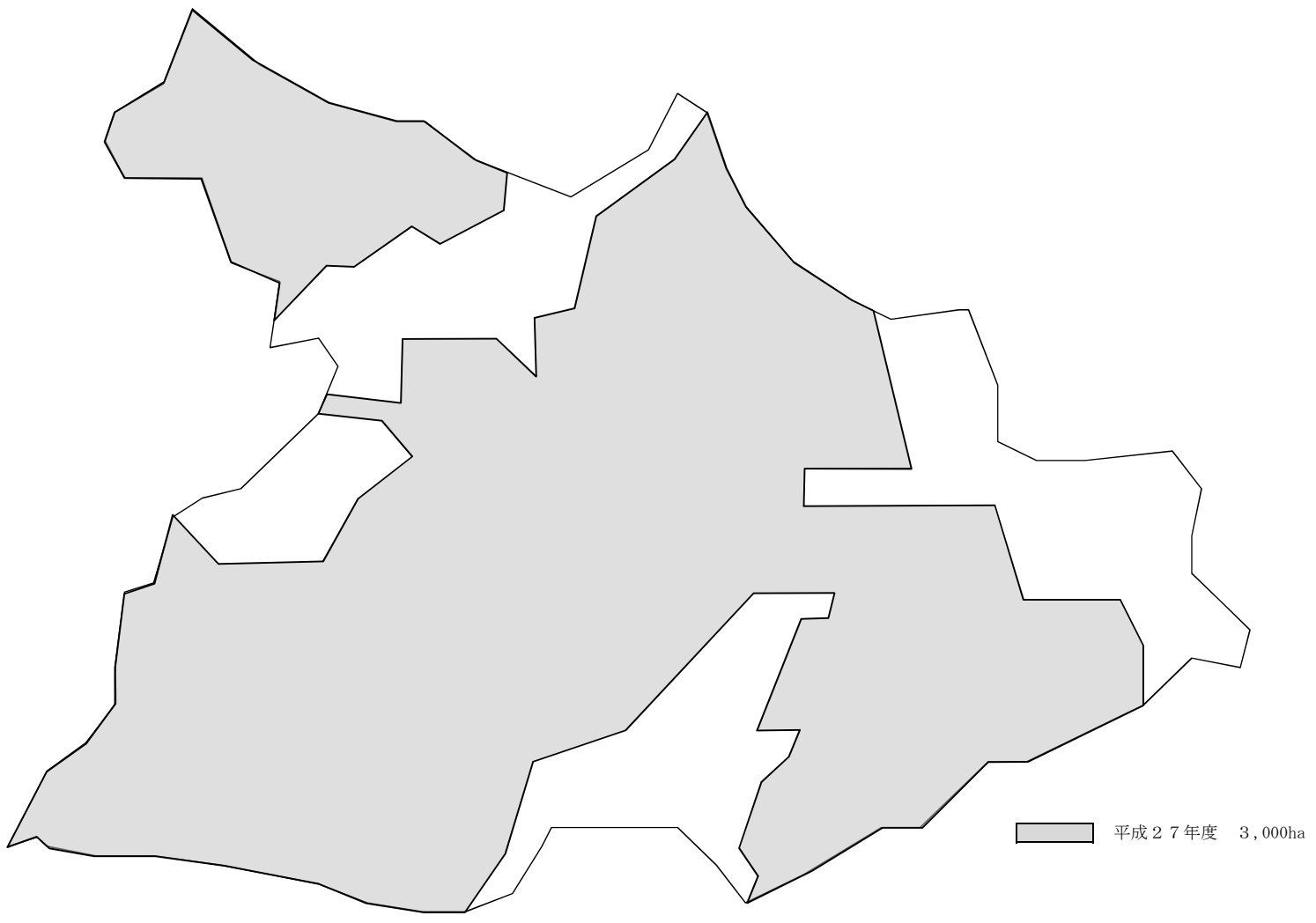
社会資本総合整備計画書 (鎌倉市)

平成27年3月31日

社会資本総合整備計画

計画の名称	鎌倉市内の大規模盛土造成宅地の調査																							
計画の期間	平成27年度（1年間）					交付対象	鎌倉市																	
計画の目標	<p>神奈川県内では、東海地震、神奈川県西部地震の切迫性が指摘されており、長期的には南関東地震の発生も想定されていることから、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進すると共に、基盤となる宅地の安全性についても計画的に向上していくことが求められている。</p> <p>そこで、市域で第一次スクリーニングを行い、大規模盛土造成宅地箇所の抽出を行うとともに、マップを公表することで、市民の防災意識を高める。</p>																							
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・鎌倉市全体面積 3,953haのうち市域の都市的土地利用を行っている面積3,000haに対して第一次スクリーニングを行う。</p>																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width:60%;"></td> <td style="width:10%; text-align: center;">当初現況値</td> <td style="width:10%; text-align: center;">中間目標値</td> <td style="width:10%; text-align: center;">最終目標値</td> <td rowspan="2" style="width:10%; text-align: center;">備考</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(H27当初)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(H27末)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">都市的土地利用を行っている箇所における第一次スクリーニングの実施面積</td> <td style="text-align: center;">0ha/ 3,000ha</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3,000ha/ 3,000ha</td> <td style="text-align: center;">実施面積/対象面積</td> </tr> </table>												当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考	(H27当初)		(H27末)	都市的土地利用を行っている箇所における第一次スクリーニングの実施面積	0ha/ 3,000ha		3,000ha/ 3,000ha	実施面積/対象面積
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考																				
	(H27当初)		(H27末)																					
都市的土地利用を行っている箇所における第一次スクリーニングの実施面積	0ha/ 3,000ha		3,000ha/ 3,000ha	実施面積/対象面積																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	20.1百万円	A	20.1百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%															
交付対象事業																								
A1 基幹事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考									
									H27	H28	H29	H30	H31											
1-A-1	防災	一般	鎌倉市	直接	鎌倉市	鎌倉市 宅地耐震化推進事業	第一次スクリーニング調査 3,000ha	鎌倉市						20.1百万円										
									合計					20.1百万円										
B 関連社会資本整備																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考									
									H27	H28	H29	H30	H31											
									合計															
C 効果促進事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考									
									H27	H28	H29	H30	H31											
									合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考													

計画の名称	鎌倉市内の大規模盛土造成宅地の調査		
計画の期間	平成27年度（1年間）	交付対象	鎌倉市



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 鎌倉市所管区域内の大規模盛土造成宅地の調査

都道府県名: 神奈川県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○